

國際法外交雜誌

第116卷 第1号

2017年5月

論 説

國際裁判における客観訴訟論 神戸大学教授 玉田 大 1

抵触法における準拠法選択と
外国国家行為承認との関係について 名古屋大学教授 横溝 大 29

資 料

判例研究・國際司法裁判所
カメルーンとナイジェリア間の領域と海洋境界事件
(反訴に関する命令・1999年6月30日)(訴訟参加に関する命令・1999年10月21日)
國際司法裁判所判例研究会 54

人種差別撤廃条約適用事件(ジョージア対ロシア)
(仮保全命令・2008年10月15日)(先決的抗弁判決・2011年4月1日)
國際司法裁判所判例研究会 69

紹 介

松田竹男・田中則夫・薬師寺公夫・坂元茂樹 編集代表
『現代國際法の思想と構造Ⅰ 歴史、国家、機構、条約、人権』
『現代國際法の思想と構造Ⅱ 環境、海洋、刑事、紛争、展望』
東北大学教授 植木俊哉 99

会 報

追悼 109